平成20年度　学校保健統計調査結果速報

この速報は，文部科学省が平成20年度に実施した「学校保健統計調査（指定統計第15号）」のうち児童，生徒及び幼児の発育状態及び健康状態について，本県の調査結果の一部を集計したものです。調査結果の詳細については，後日「平成20年度茨城県の児童･生徒の体格と疾病（学校保健統計調査結果報告書）」として発行する予定です。

なお，この速報に掲載した数値はいずれも速報値であり，後日文部科学省が公表する数値（確定値）と異なる場合があります。

Ⅰ　調査の概要

1　調査の目的

学校における児童，生徒及び幼児の発育及び健康状態を明らかにし，学校保健行政上の基礎資料を得ることを目的とする。

2　調査の周期・期日・調査系統

（1）周　期

昭和23年度から毎年実施している。なお，昭和23年度から昭和34年度までは，「学校衛生統計」という名称で実施した。

（2）期　日

平成20年４月１日から６月30日までの間に実施された学校保健法による健康診断の結果に基づき調査する。

（3）調査系統

文部科学大臣 ⇄ 都道府県知事 ⇄ 調査実施校の長

3　調査の対象

小学校，中学校，高等学校及び幼稚園のうち文部科学大臣があらかじめ指定する学校（以下，「調査実施校」という。）に在籍する，平成20年４月１日現在で満５歳から17歳までの児童，生徒及び幼児。

発育状態‥‥各年齢（学年）ごと男女ごとに抽出された者

健康状態‥‥全児童生徒

調査実施学校数等

区　分	学校			全児童・生徒・幼児数 C	発育状態		健康状態	
	全学校数A	調査実施学校数B	抽出率 B/A×100		調査対象者数 D	抽出率 D/C×100	調査対象者数 E	抽出率 E/C×100
小学校	574校	61校	10.6%	171,387人	5,764人	3.4%	27,780人	16.2%
中学校	243校	41校	16.9%	87,834人	4,918人	5.6%	18,620人	21.2%
高等学校	132校	32校	24.2%	82,462人	2,769人	3.4%	20,982人	25.4%
幼稚園	388校	37校	9.5%	42,655人	1,455人	3.4%	2,437人	5.7%
計	1,337校	171校	12.8%	384,338人	14,906人	3.9%	69,819人	18.2%

（注）１　高等学校の学校数には通信制は含まない。
　　２　幼稚園の幼児数は満５歳児のみの人数。

4　調査事項

（1）児童，生徒及び幼児の発育状態

身長，体重，座高

（2）児童，生徒及び幼児の健康状態

栄養状態，脊柱（せきちゅう）・胸郭の疾病・異常の有無，視力，聴力，眼の疾病・異常の有無

耳鼻咽頭（いんとう）疾患・皮膚疾患の有無，歯・口腔（くう）の疾病・異常の有無，結核の有無，心臓の疾病・異常の有無

尿，寄生虫卵の有無，その他の疾病・異常の有無，結核に関する検診の結果

Ⅱ　調査結果の概要

〈A　発育状態〉

1　身長・体重・座高の茨城県平均値

（1）身　長

男子の身長は，６歳，８～11歳，13～15歳で前年度より伸びている。各年齢間の身長差は，12歳と13歳の間が7.0cmと最も大きく16歳と17歳の間が0.9cmと最も小さい。なお，11歳の145.9cmは過去最高となっている。

女子の身長は，６～７歳，９歳，14～15歳，17歳で前年度より伸びている。各年齢間の身長差は，８歳と９歳の間が6.6cmと最も大きく，15歳と16歳の間が0.1cmと最も小さい。

また，９歳で0.2cm，10歳で1.0cm，11歳で0.8cm，女子の身長が男子の身長を上回っている。（表１）

表１　男女別年齢別　身長（平均値）－茨城県　（単位：cm）

区	分	５歳	６歳	７歳	８歳	９歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳
男	**20年度**	**110.7**	**117.1**	**122.5**	**128.4**	**133.8**	**139.3**	**145.9**	**152.6**	**159.6**	**165.4**	**168.7**	**169.7**	**170.6**
	19年度	111.0	116.7	123.0	128.3	133.7	138.8	145.2	153.0	159.5	165.2	168.4	170.0	171.1
	差	△0.3	0.4	△0.5	0.1	0.1	0.5	0.7	△0.4	0.1	0.2	0.3	△0.3	△0.5
女	**20年度**	**109.7**	**115.9**	**121.6**	**127.4**	**134.0**	**140.3**	**146.7**	**151.9**	**154.6**	**156.7**	**157.3**	**157.4**	**158.0**
	19年度	110.0	115.3	121.3	127.6	133.7	140.7	147.3	152.2	154.9	156.2	157.1	158.2	157.7
	差	△0.3	0.6	0.3	△0.2	0.3	△0.4	△0.6	△0.3	△0.3	0.5	0.2	△0.8	0.3

（注）　下線部分は，調査実施以来の過去最高を示す。

（2）体　重

男子の体重は，６歳，８～11歳，13歳，で前年度より増えている。各年齢間の体重差は，14歳と15歳の間が5.7kgと最も大きく，16歳と17歳の間が0.8kgと最も小さい。

女子の体重は，６～７歳，９歳，11歳，14～15歳，17歳で前年度より増えている。各年齢間の体重差は，10歳と11歳の間が6.0kgと最も大きく，16歳と17歳の間が0.6kgと最も小さい。

また，11歳では0.3kg，女子の体重が男子の体重を上回っている。（表２）

表２　男女別年齢別　体重（平均値）－茨城県　（単位：kg）

区	分	５歳	６歳	７歳	８歳	９歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳
男	**20年度**	**19.4**	**21.9**	**24.5**	**28.1**	**31.7**	**35.2**	**40.4**	**45.4**	**50.1**	**55.3**	**61.0**	**62.6**	**63.4**
	19年度	19.6	21.6	24.8	27.9	31.2	34.7	39.1	45.5	49.8	55.4	61.2	62.7	64.2
	差	△0.2	0.3	△0.3	0.2	0.5	0.5	1.3	△0.1	0.3	△0.1	△0.2	△0.1	△0.8
女	**20年度**	**19.0**	**21.6**	**23.8**	**26.8**	**31.2**	**34.7**	**40.7**	**45.2**	**47.9**	**50.9**	**52.9**	**53.6**	**54.2**
	19年度	19.2	20.9	23.4	27.0	30.5	35.2	39.9	45.3	48.0	50.6	52.3	54.4	53.8
	差	△0.2	0.7	0.4	△0.2	0.7	△0.5	0.8	△0.1	△0.1	0.3	0.6	△0.8	0.4

（3）座　高

男子の座高は，６歳，８～11歳，14歳で前年度より伸びている。各年齢間の座高差は，13歳と14歳の間が3.6cmと最も大きく，16歳と17歳の間が0.7cmと最も小さい。

女子の座高は，６～９歳，14歳，17歳で前年度より伸びている。各年齢間の座高差は，10歳と11歳の間が3.4cmと最も大きく，14歳と15歳，15歳と16歳の間が0.1cmと最も小さい。

また，10歳で0.9cm，11歳で1.2cm，12歳で0.7cm，女子の座高が男子の座高を上回っている。（表３）

表３　男女別年齢別　座高（平均値）－茨城県　（単位：cm）

区	分	５歳	６歳	７歳	８歳	９歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳
男	**20年度**	**62.0**	**65.1**	**67.8**	**70.5**	**73.0**	**75.1**	**78.2**	**81.3**	**84.7**	**88.3**	**90.1**	**90.9**	**91.6**
	19年度	62.2	64.9	67.8	70.4	72.6	74.8	77.8	81.7	84.9	88.2	90.1	91.0	91.7
	差	△0.2	0.2	－	0.1	0.4	0.3	0.4	△0.4	△0.2	0.1	－	△0.1	△0.1
女	**20年度**	**61.5**	**64.6**	**67.4**	**70.1**	**73.0**	**76.0**	**79.4**	**82.0**	**83.6**	**84.9**	**85.0**	**85.1**	**85.6**
	19年度	61.6	64.2	67.1	70.0	72.8	76.3	79.7	82.4	83.9	84.8	85.2	85.5	85.4
	差	△0.1	0.4	0.3	0.1	0.2	△0.3	△0.3	△0.4	△0.3	0.1	△0.2	△0.4	0.2

2　全国値との比較

身長を全国平均値と比較してみると，男子は６歳，８～11歳，15歳で，女子は６歳，９歳，14歳で全国平均以上になっている。

体重は，男子・女子とも各年齢で全国平均以上になっている。

座高は，男子は６～11歳，14歳で，女子は７～９歳，11歳で全国平均以上になっている。（表４）

表４　男女別年齢別　体格（平均値）〔全国値との比較〕

区分			５歳	６歳	７歳	８歳	９歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳
身長（cm）	男	茨城県	110.7	117.1	122.5	128.4	133.8	139.3	145.9	152.6	159.6	165.4	168.7	169.7	170.6
		全国	110.8	116.7	122.5	128.2	133.7	138.9	145.3	152.6	159.8	165.4	168.3	170.0	170.7
		差	△0.1	0.4	－	0.2	0.1	0.4	0.6	－	△0.2	－	0.4	△0.3	△0.1
	女	茨城県	109.7	115.9	121.6	127.4	134.0	140.3	146.7	151.9	154.6	156.7	157.3	157.4	158.0
		全国	109.8	115.8	121.7	127.5	133.6	140.3	146.8	152.1	155.1	156.6	157.3	157.7	158.0
		差	△0.1	0.1	△0.1	△0.1	0.4	－	△0.1	△0.2	△0.5	0.1	－	△0.3	－
体重（kg）	男	茨城県	19.4	21.9	24.5	28.1	31.7	35.2	40.4	45.4	50.1	55.3	61.0	62.6	63.4
		全国	19.1	21.5	24.2	27.3	30.8	34.3	38.8	44.5	49.5	54.9	59.8	61.6	63.4
		差	0.3	0.4	0.3	0.8	0.9	0.9	1.6	0.9	0.6	0.4	1.2	1.0	－
	女	茨城県	19.0	21.6	23.8	26.8	31.2	34.7	40.7	45.2	47.9	50.9	52.9	53.6	54.2
		全国	18.6	21.0	23.6	26.6	30.1	34.4	39.3	44.2	47.7	50.4	52.0	53.0	53.2
		差	0.4	0.6	0.2	0.2	1.1	0.3	1.4	1.0	0.2	0.5	0.9	0.6	1.0
座高（cm）	男	茨城県	62.0	65.1	67.8	70.5	73.0	75.1	78.2	81.3	84.7	88.3	90.1	90.9	91.6
		全国	62.1	65.0	67.7	70.3	72.8	75.0	77.8	81.4	85.0	88.2	90.2	91.2	91.7
		差	△0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.4	△0.1	△0.3	0.1	△0.1	△0.3	△0.1
	女	茨城県	61.5	64.6	67.4	70.1	73.0	76.0	79.4	82.0	83.6	84.9	85.0	85.1	85.6
		全国	61.6	64.6	67.3	70.0	72.8	76.0	79.3	82.2	83.8	84.9	85.4	85.6	85.8
		差	△0.1	－	0.1	0.1	0.2	－	0.1	△0.2	△0.2	－	△0.4	△0.5	△0.2

３　他県との比較

身長を２歳ごとに他県の平均値と比較してみると，男子の11歳，15歳と，女子の９歳が全国10位以内になっている。

体重は，男子の５歳，９歳，11歳，15歳と，女子の５歳，９歳，11歳，15歳，17歳が全国10位以内になっている。

座高は，男子の９歳，11歳が，女子の９歳が全国10位以内になっている。（表５）

表５　男女別年齢別　体格（平均値）〔他県との比較〕

区分			５歳		７歳		９歳		11歳		13歳		15歳		17歳	
			平均値	順位	平均値	順位	平均値	順位	平均値	順位	平均値	順位	平均値	順位	平均値	順位
身長（cm）	男	茨城県	110.7	24（9）	122.5	22（7）	133.8	15（18）	145.9	8（20）	159.6	24（27）	168.7	10（16）	170.6	26（13）
		最高値	112.1	秋田	124.2	秋田	135.0	秋田 宮城	147.1	青森 秋田	161.9	秋田	169.6	新潟	171.8	富山
	女	茨城県	109.7	28（12）	121.6	26（35）	134.0	8（17）	146.7	26（13）	154.6	36（27）	157.3	18（25）	158.0	18（33）
		最高値	111.2	秋田	122.9	秋田	135.2	秋田	148.4	青森	156.2	秋田	158.1	福井	159.2	神奈川
体重（kg）	男	茨城県	19.4	7（2）	24.5	11（7）	31.7	8（10）	40.4	4（16）	50.1	13（17）	61.0	6（6）	63.4	22（14）
		最高値	19.8	秋田	25.8	秋田	32.9	秋田	41.6	青森	51.7	青森	62.6	青森	66.3	秋田
	女	茨城県	19.0	7（3）	23.8	15（26）	31.2	5（9）	40.7	6（10）	47.9	18（15）	52.9	8（22）	54.2	9（16）
		最高値	19.5	秋田	24.7	秋田	31.8	青森 秋田	42.0	青森	49.1	秋田	54.5	青森	55.2	岩手 山形
座高（cm）	男	茨城県	62.0	27（10）	67.8	17（14）	73.0	9（27）	78.2	7（19）	84.7	33（21）	90.1	27（28）	91.6	30（27）
		最高値	62.7	青森 新潟	68.5	青森 秋田	73.5	宮城 秋田	78.8	青森 秋田	86.1	秋田	91.0	鳥取	92.6	京都
	女	茨城県	61.5	26（20）	67.4	18（39）	73.0	9（23）	79.4	14（7）	83.6	36（20）	85.0	42（33）	85.6	30（40）
		最高値	62.3	新潟	68.0	秋田	73.7	秋田	80.4	青森	84.6	秋田	86.3	福井	86.5	滋賀

（注）　茨城県の順位欄のカッコ内の数字は，平成19年度の順位。

４　親の世代（昭和53年度）との比較

身長を子供たちの親の世代である30年前（昭和53年度）と比較してみると，最も身長差が大きい年齢は，男子は12歳の3.1㎝，女子は11歳の2.5㎝である。なお，男子は15歳と16歳で親の世代の１歳年上（昭和53年度の16歳,17歳）をそれぞれ上回っている。女子は，14歳で親の世代の３歳年上（同17歳）を，15歳で親の世代の２歳年上（同17歳）を，16歳で親の世代の１歳年上（同17歳）をそれぞれ上回っている。

体重を比較してみると，最も体重差が大きい年齢は，男子は16歳の4.6kg，女子は11歳の3.7kgである。なお，男子は15歳で親の世代の２歳年上（同17歳）を，16歳で親の世代の１歳年上（同17歳）を上回っている。女子は15歳で親の世代の２歳年上（同17歳）を，16歳で親の世代の１歳年上（同17歳）を上回っている。

座高は，女子の14歳で親の世代の３歳年上（同17歳）を，男子・女子とも15歳で親の世代の２歳年上（同

17歳）を，16歳で親の世代の１歳年上（同17歳）を上回っている。（表６）

表６　男女別年齢別　体格　（平均値）〔親の世代との比較〕－茨城県

区分			５歳	６歳	７歳	８歳	９歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳
身長（cm）	男	平成20年度	110.7	117.1	122.5	128.4	133.8	139.3	145.9	152.6	159.6	165.4	168.7	169.7	170.6
		昭和53年度	110.3	115.6	121.0	126.9	131.8	137.2	142.9	149.5	157.0	162.5	166.6	168.2	169.0
		差	0.4	1.5	1.5	1.5	2.0	2.1	3.0	3.1	2.6	2.9	2.1	1.5	1.6
	女	平成20年度	109.7	115.9	121.6	127.4	134.0	140.3	146.7	151.9	154.6	156.7	157.3	157.4	158.0
		昭和53年度	109.4	114.6	120.7	125.5	131.9	138.2	144.2	150.6	152.7	155.2	156.0	156.5	156.6
		差	0.3	1.3	0.9	1.9	2.1	2.1	2.5	1.3	1.9	1.5	1.3	0.9	1.4
体重（kg）	男	平成20年度	19.4	21.9	24.5	28.1	31.7	35.2	40.4	45.4	50.1	55.3	61.0	62.6	63.4
		昭和53年度	19.1	20.8	23.2	26.0	28.4	32.2	36.1	41.2	47.0	51.7	56.7	58.0	59.6
		差	0.3	1.1	1.3	2.1	3.3	3.0	4.3	4.2	3.1	3.6	4.3	4.6	3.8
	女	平成20年度	19.0	21.6	23.8	26.8	31.2	34.7	40.7	45.2	47.9	50.9	52.9	53.6	54.2
		昭和53年度	18.9	20.2	22.9	25.4	28.8	33.1	37.0	43.0	46.0	49.1	51.1	51.6	52.2
		差	0.1	1.4	0.9	1.4	2.4	1.6	3.7	2.2	1.9	1.8	1.8	2.0	2.0
座高（cm）	男	平成20年度	62.0	65.1	67.8	70.5	73.0	75.1	78.2	81.3	84.7	88.3	90.1	90.9	91.6
		昭和53年度	62.3	64.7	67.3	69.8	71.9	74.0	76.7	79.8	83.1	86.2	88.4	89.3	89.7
		差	△0.3	0.4	0.5	0.7	1.1	1.1	1.5	1.5	1.6	2.1	1.7	1.6	1.9
	女	平成20年度	61.5	64.6	67.4	70.1	73.0	76.0	79.4	82.0	83.6	84.9	85.0	85.1	85.6
		昭和53年度	62.1	64.0	66.9	69.0	71.8	74.7	77.7	81.4	82.5	84.0	84.6	84.4	84.5
		差	△0.6	0.6	0.5	1.1	1.2	1.3	1.7	0.6	1.1	0.9	0.4	0.7	1.1

〈B　健康状態〉

１　主な疾病・異常の被患率の推移

主な疾病・異常の被患率の推移をみると表７のとおりとなっている。

表７　主な疾病・異常の被患率の推移　（%）

区分		むし歯（う歯）			裸眼視力				鼻・副鼻腔疾患の者
		計	処置完了者	未処置歯のある者	計	1.0未満0.7以上	0.7未満0.3以上	0.3未満	
幼稚園	平成11年度	76.1	24.9	51.2	36.0	28.1	6.8	1.2	0.4
	12	64.1	20.7	43.4	39.3	32.8	6.2	0.3	0.3
	13	61.3	20.6	40.7	22.9	15.8	6.7	0.4	0.0
	14	62.8	22.2	40.6	26.8	17.0	9.4	0.4	0.1
	18	60.9	23.7	37.2	X	X	X	X	1.0
	19	59.8	21.3	38.6	25.0	18.9	4.9	1.1	2.3
	20	52.9	17.8	35.1	X	X	X	X	0.8
小学校	平成11年度	82.9	35.4	47.4	24.1	11.0	8.1	5.0	2.8
	12	81.8	37.8	44.1	23.5	9.5	8.8	5.2	2.8
	13	81.4	34.9	46.6	24.9	10.8	8.4	5.7	2.9
	14	74.7	33.5	41.2	22.5	9.1	8.1	5.3	3.2
	18	71.9	32.5	39.3	23.7	9.7	9.0	5.0	6.0
	19	70.1	31.0	39.2	26.8	10.0	10.2	6.6	4.0
	20	69.5	30.4	39.1	26.9	10.6	10.7	5.6	5.5
中学校	平成11年度	83.5	43.3	40.2	49.5	11.3	16.1	22.1	2.1
	12	79.5	41.8	37.6	48.0	12.4	14.2	21.4	1.1
	13	79.1	40.4	38.6	48.9	11.5	15.1	22.3	2.0
	14	77.7	41.4	36.3	46.8	10.8	15.2	20.9	2.2
	18	68.1	37.9	30.2	45.4	10.3	16.3	18.8	3.9
	19	64.0	30.1	33.9	50.9	10.3	16.1	24.6	4.3
	20	61.6	32.7	28.8	51.2	10.3	16.7	24.2	5.5
高等学校	平成11年度	88.3	50.7	37.7	67.6	13.7	19.8	34.1	3.6
	12	86.2	53.1	33.1	67.1	9.6	18.0	39.5	3.3
	13	84.9	49.2	35.8	64.5	11.2	16.8	36.5	2.4
	14	83.2	50.6	32.6	62.3	10.8	16.1	35.4	4.9
	18	70.7	41.4	29.4	68.7	10.6	15.2	42.9	14.3
	19	71.9	37.9	34.0	64.4	12.5	17.0	35.0	2.2
	20	70.5	33.5	37.1	X	X	X	X	2.7

（注）平成15年度～17年度は都道府県別の数値は公表していない。
平成14年度までの調査対象：調査実施校の各学年ごとに抽出された学級全員。
平成18年度の調査対象：調査実施校に在籍する全児童生徒。
「X」は疾病・異常被患率等の標準誤差が５％以上，受検者数が100人（５歳は50人）未満または回答校が１校以下のため統計数値を公表しない。
小数点以下第２位を四捨五入している。以下の各表において同じ。

２　むし歯（う歯）のある者の割合

むし歯のある者の割合（処置完了者を含む。以下同じ。）は，幼稚園52.9％，小学校69.5％，中学校61.6％，高等学校70.5％となっており，全ての学校段階で被患率が最も高い疾病・異常となっている。

全国と比較すると，すべての学校段階で全国平均を上回っており，幼稚園は2.6ポイント，小学校は5.7ポイント，中学校は5.6ポイント，高等学校は5.0ポイントとなっており全国平均を上回っている。

年齢別にみると９歳が76.1％と最も高くなっている。（表７，表８）

表８　学校段階別　むし歯の者の割合

（単位：％）

区分		計			処置完了者			未処置歯のある者		
		計	男	女	計	男	女	計	男	女
幼稚園（５歳）	**茨城県**	**52.9**	**53.4**	**52.3**	**17.8**	**17.0**	**18.7**	**35.1**	**36.5**	**33.6**
	全　国	50.3	51.3	49.2	20.3	20.6	20.1	29.9	30.7	29.1
	差	2.6	2.2	3.1	△2.5	△3.6	△1.4	5.2	5.8	4.5
小学校	**茨城県**	**69.5**	**71.0**	**67.9**	**30.4**	**30.1**	**30.7**	**39.1**	**40.9**	**37.2**
	全　国	63.8	65.2	62.3	30.9	31.1	30.6	32.9	34.1	31.7
	差	5.7	5.8	5.6	△0.5	△1.0	0.1	6.2	6.8	5.6
中学校	**茨城県**	**61.6**	**60.0**	**63.2**	**32.7**	**31.1**	**34.4**	**28.8**	**28.9**	**28.7**
	全　国	56.0	54.0	58.1	30.4	28.7	32.1	25.6	25.2	26.0
	差	5.6	6.1	5.1	2.4	2.4	2.4	3.2	3.7	2.7
高等学校	**茨城県**	**70.5**	**68.8**	**72.4**	**33.5**	**30.5**	**36.6**	**37.1**	**38.2**	**35.8**
	全　国	65.5	63.4	67.7	36.0	33.4	38.6	29.5	30.0	29.0
	差	5.0	5.4	4.7	△2.5	△2.9	△2.1	7.6	8.3	6.8

３　裸眼視力1.0未満の者の割合

裸眼視力1.0未満の者の割合は，小学校26.9％，中学校51.2％となっており各学校段階の疾病・異常でむし歯に次いで上位を占めている。

前年度と比較すると，小学校，中学校では前年度より上昇している。

全国と比較すると，小学校は3.0ポイント，中学校は1.4ポイント全国平均を下回っている。

年齢別にみると，0.3未満の者の占める割合が年齢が進むにつれて高くなっている。（表７，表９）

表９　学校段階別　裸眼視力1.0未満の者の割合

（単位：％）

区分		計			1.0未満～0.7以上			0.7未満～0.3以上			0.3未満		
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
幼稚園（５歳）	**茨城県**	**X**	**X**	**X**	**X**	**X**	**X**	**X**	**X**	**X**	**X**	**X**	**X**
	全　国	28.9	28.2	29.7	22.0	21.8	22.3	6.1	5.9	6.3	0.8	0.5	1.1
	差	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
小学校	**茨城県**	**26.9**	**23.3**	**30.7**	**10.6**	**9.4**	**11.8**	**10.7**	**9.5**	**12.0**	**5.6**	**4.4**	**6.9**
	全　国	29.9	26.9	32.9	11.2	10.4	12.1	11.6	10.6	12.7	7.1	6.0	8.2
	差	△3.0	△3.6	△2.3	△0.7	△1.0	△0.3	△0.9	△1.1	△0.7	△1.4	△1.6	△1.3
中学校	**茨城県**	**51.2**	**45.3**	**57.5**	**10.3**	**10.5**	**10.0**	**16.7**	**14.9**	**18.7**	**24.2**	**19.9**	**28.8**
	全　国	52.6	48.1	57.3	12.4	11.9	12.9	17.8	17.0	18.6	22.4	19.2	25.8
	差	△1.4	△2.8	0.2	△2.1	△1.4	△2.8	△1.1	△2.1	0.0	1.8	0.7	3.0
高等学校	**茨城県**	**X**	**X**	**X**	**X**	**X**	**X**	**X**	**X**	**X**	**X**	**X**	**X**
	全　国	58.0	53.7	62.4	12.6	13.1	12.0	17.1	17.4	16.7	28.4	23.2	33.7
	差	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…

「X」は疾病･異常被患率の標準誤差が５％以上，受検者数が100人（５歳は50人）未満または回答校が１校以下のため統計数値を公表しない。

４　鼻・副鼻腔疾患の者の割合

鼻・副鼻腔疾患の者の割合は，幼稚園0.8％，小学校5.5％，中学校5.5％，高等学校2.7％となっており，前年度と比較すると幼稚園は前年度より低下しているが，小学校，中学校，高等学校とも前年度より上昇している。

全国と比較すると，すべての学校段階で全国平均を下回っている。

年齢別にみると６～15歳の各年齢で４％を超えており，小学校，中学校の学校段階で割合が高くなっている。（表７，表10）

表10　学校段階別　　鼻・副鼻腔疾患の者の割合

（単位：％）

区分		計	男	女
幼稚園（５歳）	**茨城県**	**0.8**	**0.8**	**0.9**
	全　国	3.8	4.6	3.0
	差	△3.0	△3.8	△2.1
小学校	**茨城県**	**5.5**	**6.8**	**4.1**
	全　国	11.9	14.7	9.0
	差	△6.4	△7.8	△4.8
中学校	**茨城県**	**5.5**	**6.5**	**4.5**
	全　国	10.8	12.5	9.1
	差	△5.3	△6.0	△4.6
高等学校	**茨城県**	**2.7**	**3.1**	**2.3**
	全　国	8.8	10.0	7.6
	差	△6.1	△6.9	△5.2